

JASPIC設立趣意書から

- ・我々日本SPIコンソーシアム(JASPIC)は、全力を傾注してこのような地道な改善活動に日夜励んでいるプロセス改善担当者が、社会組織の壁を超えてプロセス改善に関して各自の経験や技術を交流し合うための場を提供し、「プロセスチャンピオン」と呼ばれるプロセス改善成功者を養成して行くための非営利の団体を目指し、現在、2000年10月設立を目指し、以下の発起人会社一同にて設立準備を進めています。

「今日の言葉」から～4776（6/9）、4777（6/10）～

基本を大事にすることは、
組織の根幹に流れてきた
スピリットをつかむ、
ということではないでしょうか？

自衛隊で言うなら、
組織が今あるまでに脈々と
続いてきた歴史と伝統を受け継ぐ、
ということです。

過去にあったものを
なにもかも捨て、
新しく変えてしまうような
「革命」は、やってはなりません。

昨今は、どんな組織においても
「改革」が流行っていますが、
やるにしても、過去の組織内に
存在してきたありようが、
なぜ必要だったのかを
理解した上での「改革」でなければ、
組織の基本的なスピリットが
失われてしまいます。

河野 克俊：
前（第5代）統合幕僚長

岸田さん



プロセス改善と儒教哲学
(これでいいの?)

岸田 孝一
May 24,2003
JASPIC Meeting in 浜松



ソフトウェア技術者協会 ソフトウェア・シンポジウム

ソフトウェア・シンポジウム 2021 in 大分 (オンライン開催)



ソフトウェア・シンポジウムは、ソフトウェア技術に関わるさまざまな人びと、技術者、研究者、教育者、学生などが一堂に集い、発表や議論を通じて互いの経験や成果を共有することを目的に、毎年全国各地で開催しています。

第41回目を迎える2021年のソフトウェア・シンポジウムでは、この数年間で試みてきた新しい取り組み（チュートリアルや Future Presentationなど）をさらに発展させたものにしたいと考えています。このほか、SS2020に引き続き、論文発表や事例報告と、ワーキンググループで議論を行います。

今まで、投稿・発表された論文はWebサイトで公開していましたが、今年からより幅広く知ってもらい、活用される機会を増やすために、[J-STAGE](#)でも公開する予定です。

ソフトウェア技術に関連するさまざまな分野の皆さまからの投稿をお待ちします。参加者の発表にはさまざまな形式があります。研究論文、Future Presentation、経験論文、事例報告です。また、ワーキンググループでの深い議論も予定していますので、ご提案いただきますよう、よろしくお願ひします。

ソフトウェア技術者協会(SEA)は、ソフトウェアハウス、コンピュータメーカー、計算センタ、エンドユーザ、大学、研究所など、それぞれ異なった環境に置かれているソフトウェア技術者あるいは研究者が、こうした**社会組織の壁を越えて、各自の経験や技術を自由に交流しあうための「場」として**、1985年12月20日に設立されました。

組織の基本的なスピリット

- ・「場」を作り続けること、だと思う。



林 好一, プロセス改善には現場のやる気が必要 ⇒ワークショップによって参加者もスタッフもやる気が向上, SEPG Japan 2004

<http://www.jaspic.org/event/2004/SepgJapan/proceedings/3A4.pdf>

